

30

高等学校 工業科 (建築) 実技 (問題)

(3枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

- 1 次に示す使用工具を正しく使用し、あとの図1・図2を基に「大入れあり掛け」を完成させなさい。ただし、加工する材はA材、B材ともに105 mm × 105 mm × 750 mm とし、下に示した仕様を参考にし、加工後の寸法をA材700 mm、B材をA材の芯から600 mm となるようにすることとします。また、加工前にB材に対しA材の芯から450 mm のところに返し墨を回し、上端面に「ほぞ穴」の墨付けをすることとします。なお、「ほぞ穴」の寸法は30 mm × 90 mm とします。

使用工具

- ・片刃のこぎり (横びき, 縦びき)
- ・のみ (24 mm, 15 mm)
- ・かんな
- ・さしがね
- ・けびき
- ・スコヤ
- ・墨壺
- ・墨さし
- ・雑巾
- ・げんのう

仕様

(1) 墨付け

- ・加工に必要な墨はすべて付け残す。
- ・墨付けは、墨さしを使用する。なお、けびきした上に墨入れを行ってはならない。
- ・芯墨は墨壺で墨打ちとする。また、芯墨以外の部分はさしがねで墨付けしてもよい。
- ・各仕口部分の寸法は、図1・図2のとおりとする。

(2) 加工

- ・材料の木口は、両端を切断して使用する。
- ・仕口及び切断面木口部分には、面取り等の必要な処置を施すものとする。
- ・けびきについては、墨付けの上から加工のため使用してもよい。また、芯出しの際に使用してもよい。

(3) 組立て

- ・加工した材料を組み立てる際に、材料の一部をたたいてつぶし接合しやすくすることはよいが、材料を水にぬらすことは禁止する。

30 高等学校 工業科 (建築) 実技 (問題)

(3枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

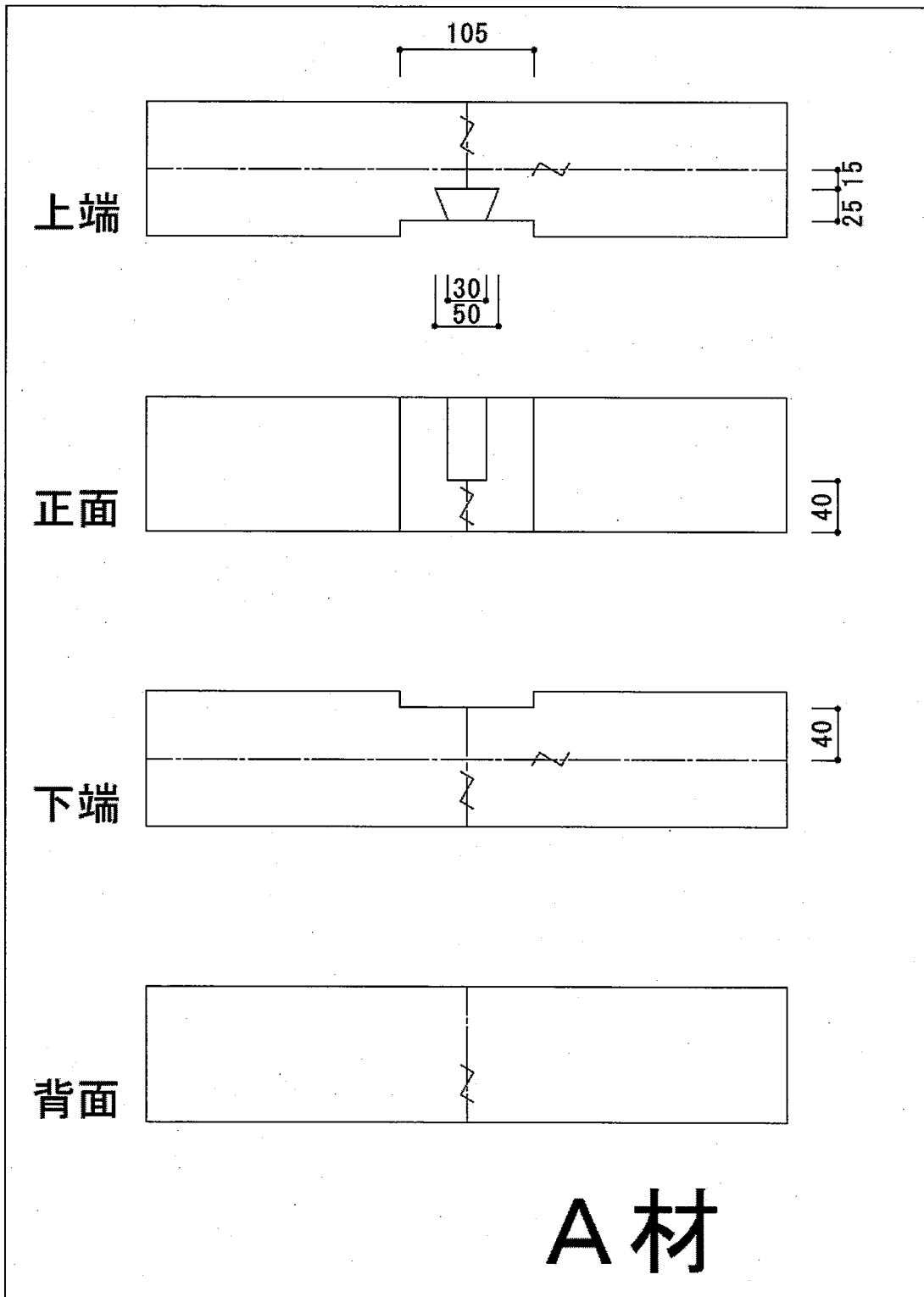


図 1

30 高等学校 工業科 (建築) 実技 (問題)

(3枚のうち3)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

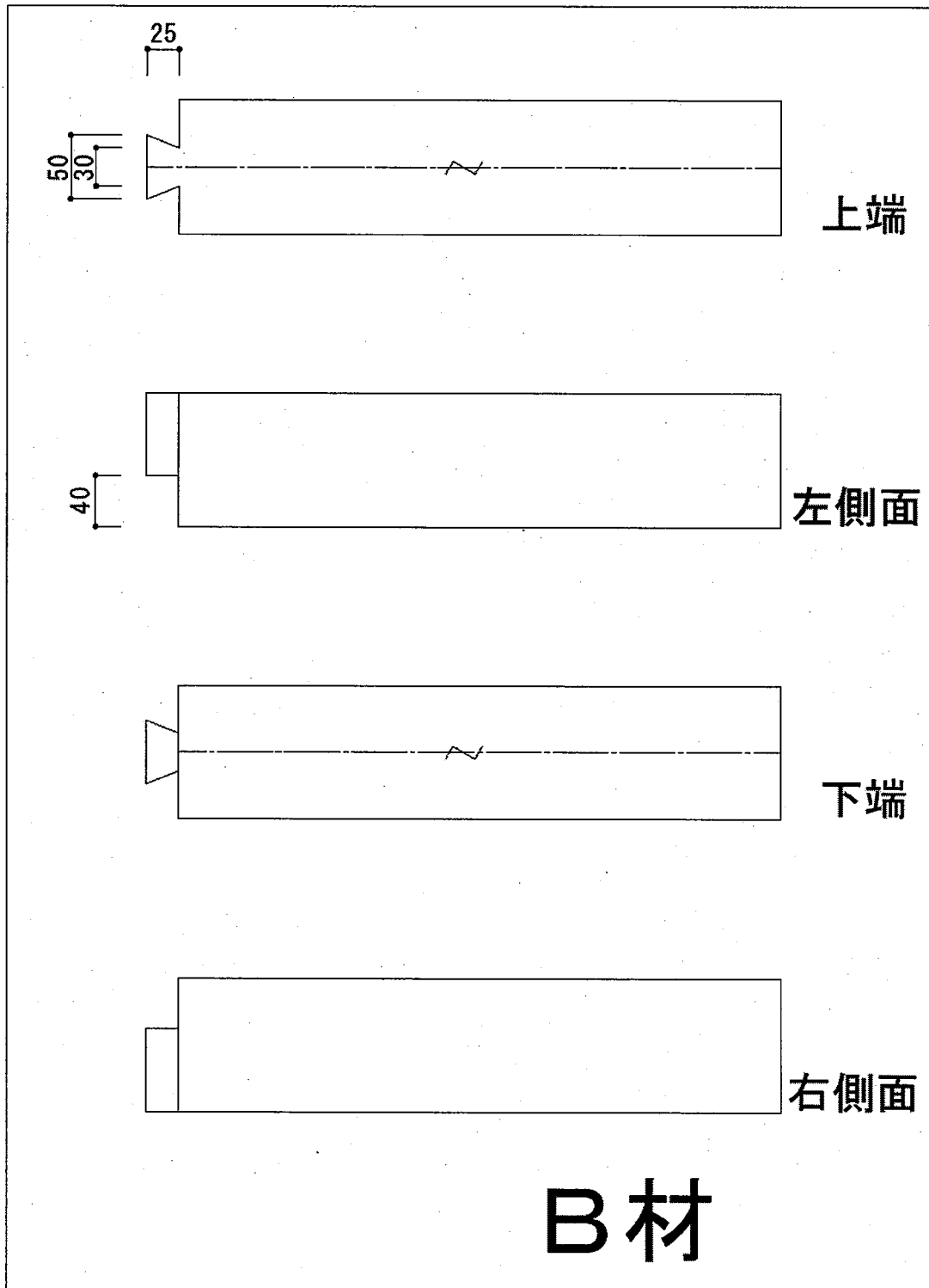


図2